

# 年末年始の伝統行事



## ①木太刀の舞

御厨町寺ノ尾地区にある八幡神社で12月15日、江戸時代から続く伝統芸能「木太刀の舞」が披露されました。神社に集まった約20人の地区住民は、地区の安全と五穀豊穡を祈願しました。

## ②佐々木祭

志佐町池成地区に300年以上前から伝わる佐々木祭。佐々木様に仕えた家臣の子孫にあたる同地区5世帯で毎年持ち回りして開催しています。佐々木様の命日の12月24日、当番の田中純一さん宅に集まり、大杯で酒1升を回し飲みしながら、霊を慰め親睦を深めました。

## ③もぐら打ち

家内安全や無病息災を祈願するもぐら打ち。星鹿地区では1月6日に小中学生14人が集まり、地区内の約120戸を2班に分かれて回りました。

## ④鬼火たき

1月7日に調川町松山田地区で、久保川志丸しまるさんが作った高さ約6.5m、幅約5mのジャンボ鬼小屋に地域住民約60人が集まり、持ち寄った門松などを鬼小屋に入れ、鬼火たきが行われました。

## ⑤百手講

志佐町庄野地区の王嶋神社で1月8日、百手講が行われました。的に当たった矢の数で今年の豊凶を占うもので、市の無形民俗文化財に指定されています。2人の射手が50本の矢を交互に放ち、見事に6本の矢が命中しました。

## ⑥大般若

志佐町里地区で1月11日に還暦と厄入りを迎えた地区住民12人が、経典が入った箱を担ぎ「たいはんにかー」と掛け声を掛けながら地区内の約200戸を回りました。地区の住民たちは経箱の下をくぐり無病息災を願いました。

## 威勢よい掛け声

### 松浦魚市場

日本有数のアジ・サバの水揚量を誇る松浦魚市場で1月6日、今年最初の取り引きとなる初競りが行われました。

午前5時の1番競りから仲買人らの威勢のよい掛け声が市場内に響き、水揚げされたヨコワやアジなどの鮮魚が次々と競り落とされました。

また、その後に行われた仕事始め式では、市場関係者が航海安全と大漁、商売繁盛を願いました。



## まちの話題

Matsuura City Topics

## 感謝の気持ちを込めて

### 松浦少年野球クラブ

松浦少年野球クラブ(田中公省監督・部員38人)が1月4日、運動公園周辺で清掃を行いました。

同クラブは、野球の練習で日ごろ利用している運動公園のグラウンドや部員たちを見守り応援して下さる地域の皆さんへの感謝の気持ちを込めて清掃を行いました。

この日参加した部員や保護者など約60人は、4班に分かれて火ばさみやごみ袋を手に約1時間かけて空き缶や紙くずなどのごみを拾い集めました。



## 子育て大賞受賞!

平成26年度ながさき子育て支援表彰式が12月13日、長崎市の長崎新聞文化ホールで開催され、田中隆治さん・由美子さん家族(志佐・辻ノ尾)と、八汐和貴さん・利恵さん家族(志佐・下高野)へ長崎県知事から「ながさき子育て大賞」が贈られました。

この賞は、18歳未満の子どもが5人以上で、明るい子育てを実践している家庭に贈られるものです。

田中さんの家族は、昨年の3月に待望の女の子が誕生。7歳の長男を筆頭に5人(4男1女)の子どもたちが元気にすくすくと育っています。

忙しい毎日の中でも月に数回は必ず家族で折り紙やお絵かきの時間を作り、明るく楽し



い子育てに励んでいます。

また、八汐さんの家族では、17歳の長女から3歳の末っ子まで8人(3男5女)の子どもたちが仲良く成長しており、日ごろから兄弟姉妹が協力しながら、お母さんの家事をよく手伝っています。ご両親もそれぞれの子どもたちの話をよく聞き、家族の会話と一緒に過ごす時間を大切にしながら、笑顔の絶えない明るい子育てを実践されています。



写真：(左) 田中さんご家族、(右) 八汐さんご家族